

科目名： 所得税法		科目コード	EB87
科目主査： 宮地 昌之 担当講師： 水本 昌克、宮地 昌之		単位	4
		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： ☐ あり ☒ なし	個人ワーク： ☐ あり ☒ なし
本科目では、所得税法についての本格的な学習をスタートする方々を対象に、所得税法の基礎から、所得の区分、所得の計算、所得税額の計算までを体系的に学習します。 所得税法の基本事項をしっかりと理解したうえで、判例などの発展的な学習を段階的に進めることで、法律全体の構造を体系的に理解することができるようになります。			
履修の前提となる科目	☐ あり ☒ なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストを熟読し、重要語句を中心に事前学習し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングして質問できるように準備してください。事前に租税法概論について知識を深めておくことを推奨します。		
テキスト	『スタンダード所得税法第4版』佐藤 英明, 弘文堂, 最新版		

この科目の 到達目標	①所得税の基本事項（税法用語など）および所得税額算出手順を理解できる。 ②所得分類における各種所得の意義、範囲、課税方法を理解でき、所得税額計算ができる。
成績評価 の 方 法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合いを評価対象とします。また、休み時間後の遅刻は、減点の対象とします。 事前確認テストは評価の対象にはしませんが、白紙答案等、やる気がないと感じられる場合は減点します。最終試験は、○×問題、穴埋め問題、計算問題を出題します。その上で、科目の到達目標の到達度合いを勘案して総合的に評価します。 授業をきちんと聞き、重要な点はノートにまとめてください。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	・ 授業で学習した内容を復習し、再度テキストをよく読み、理解を深めること。 ・ 学習した知識を活用して実際に所得税額を計算することで、計算過程を理解すること。 ・ 新聞やインターネットなどに掲載される所得税に関する記事に関心を持つこと。
事後学習の 参考文献	『図解所得税』松崎 啓介（編）, (財)大蔵財務協会（令和6年版） 『所得税 確定申告の手引』田名後 正範（編著）, 税務研究会出版局 インターネット：「国税庁ホームページ」 https://www.nta.go.jp/

スクーリング受講時に用意するもの
☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ 電卓 ☒ カメラ・マイクは必須となります。